

# 大谷學報

第六十卷 第二号

昭和五十五年九月三十日発行

天台智顗における

大乘戒の組織と止観

福島 光哉 (1)

ホラーティウス『叙情詩集』

卷四第二歌の解釈(Ⅰ)

水野 有庸 (13)

還元の問題

暁鳥 哲夫 (28)

「情操」という用語の起源と

定着過程についての考察

佐々木正昭 (40)

——明治期心理学史を中心に——

昭和五十四年度 特別研究員研究発表要旨

(53)

新刊紹介

(67)

彙報

(70)

本学女子学生の体育実技種目に

対する嗜好性の変化

中桐 伸吾 (1)

——評定尺度法と一対比較法による比較から——

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第五十九卷 第四号

果遂のちかい……………藤原 幸章

図書館活動へのアプローチ……………荷葉 堅正

『平家』文覚譚考……………渡辺 貞麿  
—勸進聖と念仏聖—

「笠地蔵」の背景……………斎藤寿始子

大谷学会研究発表会要旨

昭和五十四年度 寄贈交換誌目録

Dravya-indriya ㄱ Bhava-indriya…長崎 法潤  
—『インディーナ・ミーンサー』解説研究  
Pm. 1. 1. 71~1. 1. 90—

大谷学報 第六十卷 第一号

教育と教養……………石原 鉄雄  
—教育の基幹概念—

『宇治拾遺物語』と話主……………片岡 了

《蓮宗宝鑑》管窺……………安藤 智信  
—契嵩とのかかわりをめぐって—

苦悩の意味……………池上 哲司

宗教的実践の課題……………秦 治人  
—大行の開く世界—

新刊 紹介

昭和五十四年度 修士・卒業論文題目一覧

# THE OTANI GAKUHO

( THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES )

## CONTENTS

### Articles :

- T'ien-t'ai Chih-i's System of Mahāyāna Precepts  
and *Śamatha-vipaśyanā* ..... *Kōsai Fukushima* ( 1 )
- An Interpretation of Horace's *Ode* 4, 2 (I) ..... *Aritsune Mizuno* ( 13 )
- The Problem of Reduction ..... *Tetsuo Akegarasu* ( 28 )
- The Origin and Adoption of the Term “*Jōsō*”  
in the History of Psychology during the  
Meiji Era ..... *Masaaki Sasaki* ( 40 )
- Changes in Preference among Female Students  
toward the Types of Courses Offered in  
Physical Education at Ōtani University ..... *Shingo Nakagiri* ( 1 )  
—A Result of Comparison between Rating Scale  
Method and the Method of Paired Comparison—

### Miscellaneous

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

会務を統理する。

四月一日から施行する。

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の学術研究と発表をおこなうことを目的とする。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

### 大谷学会役員

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

委員 岩見 至 大屋 憲一

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

第八条 会員は本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

柏原 祐景 高橋 憲昭  
内藤 史朗 名畑 崇  
広瀬 英一 細川 行信  
箕浦 恵了 山本 唯一

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第九条 会員の会費は年額金四千円とする。但し、学生会員は貳千円とする。

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

第一〇条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

編集兼 大谷学会  
印刷者 西村 七兵衛

第五条 本会に左の役員を置く。

第一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

一、会長

第一条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

二、委員

附則 1、この規程は昭和五十五年

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

附則 1、この規程は昭和五十五年

発行所 大谷学会  
振替 京都 一八三九三番  
電話(〇七五) 四三二一三二一代  
郵便番号 六〇三

昭和五十五年九月三十日発行